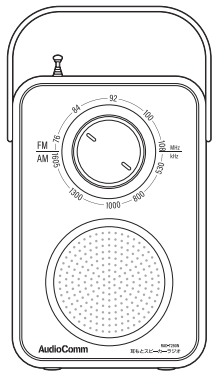


耳もとスピーカーラジオ

型番：RAD-T280N 品番：03-7058



このたびは、AudioComm® 耳もとスピーカーラジオをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本機の機能を十分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みなられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

静電気に関するご注意

空気が乾燥する時期にイヤホンを使用すると、耳にびりびりと痛みを感じるがありますが、これはイヤホンの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより影響が軽減されます。

ワイドFM(FM補完放送)について

ワイドFM(FM補完放送)とは、AM放送局の放送区域において、難聴対策や災害対策のため、新たにFM放送用に割り当てられた90.1~94.9MHz周波数帯域を用いて、補完的にAM番組を放送することです。ワイドFMの開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

安全上のご注意

電気製品は正しく取り扱うことにより、安全にお使いいただけます。間違った使いかたは火災や感電による人身事故につながる可能性があります。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。



警告

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感じたら、すぐに本機から乾電池を取り外す
 - ・そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
 - ・煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。
- 万一、内部に水や異物などが入った場合は、すぐに使用を中止する
 - ・そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
 - ・販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。
- 分解、修理、改造しない
 - ・火災・感電の原因となります。
- 雷が鳴り始めたら、安全のため本機に触れない
 - ・感電するおそれがあります。
- 自動車の中や直射日光の当たる場所、火のそばなどでは使用しない。また絶対に放置しない
 - ・発熱、発火、故障の原因となります。
- 本機の上に重いものをのせない
 - ・破損や故障、コード損傷による火災・感電の原因となります。
- 火の中に入れない
 - ・誤って火中に入ると、乾電池が発熱、破裂、発火するおそれがあります。
- 乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が乾電池を誤って飲み込むことのないようにする。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談する
 - ・乾電池は幼児の手の届かないところに保管してください。



注意

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

- 乾電池を挿入するときは極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示どおり正しく入れる
 - ・間違えると、乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の乾電池は使用しない。また、古い乾電池と新しい乾電池、種類の異なる乾電池(例：アルカリとマンガン)を一緒に使わない
 - ・乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 長時間、大音量で聴き続けない
 - ・聴力障害などの原因となることがあります。
- 浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所では使わない
 - ・感電や故障の原因となります。
- めれた手で操作しない
 - ・故障や感電の原因となることがあります。
- 暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のあたる場所に置かない
 - ・破損・故障の原因となります。
- 電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニターなど)に近づけない
 - ・電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズの原因となります。

- 振動や衝撃の多い場所、ぐらついた台の上、傾いた場所など、不安定な所に置かない
 - ・落下してけがをする可能性があります。また、破損・故障の原因となります。

- シンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない
 - ・変形・変色の原因となります。

- 長期間本機を使わないときは、安全のため必ず乾電池を取り外す
 - ・火災・液もれの原因となることがあります。

乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。



警告

- ・火中への投入、加熱、分解をしない
- ・取り外した乾電池を幼児に触らせない
- ・ショートさせない
- ・直射日光や火などの過度の熱にさらさない



注意

- ・⊕⊖の表示どおりに入れる
- ・指定以外の乾電池を入れない
- ・使用推奨期限内の乾電池を使用する
- ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池と一緒に入れない
- ・使い切った乾電池はすぐに取り出す
- ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

- 万一、液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
- 万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
- 使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

故障かなと思ったら

電源が入らない

- 乾電池は正しく装着されていますか。⊕⊖の向きは正しいですか。
- 乾電池が消耗していませんか。

音が出ない/音が小さい

- 音量が最小になっていませんか。
- 電源は入っていますか。
- 正しく選局されていますか。
- イヤホン端子にイヤホンが繋がっていませんか。
- 乾電池が消耗していませんか。
- テレビのモノラル出力端子に接続していませんか。モノラル出力端子に接続するときは、別売のモノラル変換プラグを介してお使いください。
- イヤホン使用時：イヤホン端子が確実に接続されていますか(ゆるんでいませんか)。

雑音が多い/音が悪い

- 乾電池が消耗していませんか。
- 近くで携帯電話を使用していませんか(携帯電話から離れて使用してください)。
- テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信していませんか(テレビや蛍光灯から離れて使用してください)。

主な仕様

電 源	DC4.5V 単3形乾電池×3本(別売)
受信周波数	AM:530~1605kHz FM:76~108MHz
スピーカー	φ57mm×1(8Ω)
最大出力	0.8W
乾電池持続時間	スピーカー時／AM受信:約36時間 FM受信:約38時間 イヤホン時／AM受信:約44時間 FM受信:約45時間
アンテナ	AM:フェライトバーアンテナ(内蔵) FM:ロッドアンテナ
接続端子	外部音声入力:φ3.5mmステレオミニジャック(出力音声はモノラル) イヤホン:φ3.5mmステレオミニジャック(出力音声はモノラル)
外形寸法	幅105×高さ158×奥行80mm(突起物含まず)
質 量	約403g(乾電池含まず)
付属品	オーディオケーブル(約5m)、保証書、取扱説明書
※乾電池持続時間は、アルカリ乾電池新品使用時(音量中程度)の目安です。使用状況により異なります。 ※外觀、仕様は改善のため予告なく変更することがあります。 ※本書の図版は、実際の製品と一部異なる場合があります。	

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

- 調子が悪いときは：修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
- 保証期間中は：保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎた場合は：修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

お手入れのしかた

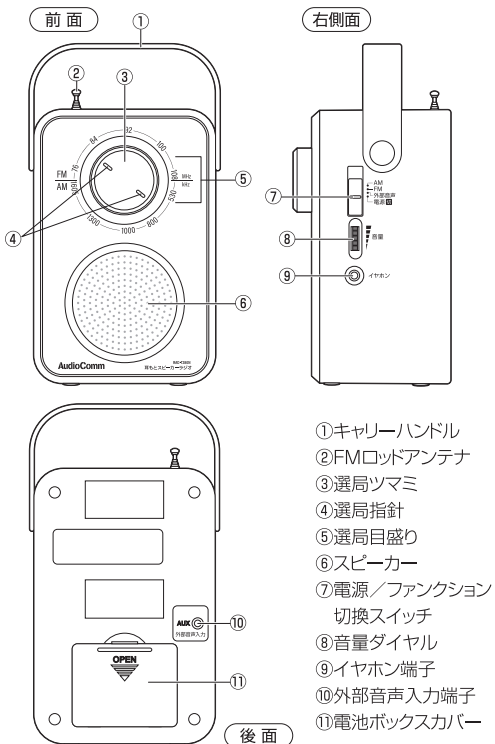
お手入れを始める前に必ず電源を切ってください。

- 本機の表面が汚れたら、柔らかい布で拭き取ってください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後から拭きをしてください。
- シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。



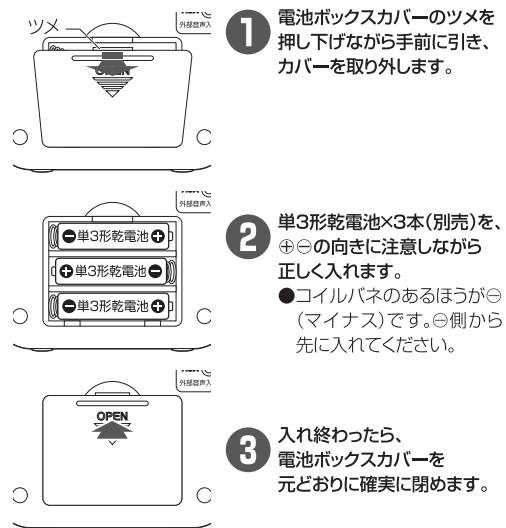
シンナー、ベンジン、アルコールは使用しないでください。

各部の名称



- ① キャリーハンドル
- ② FMロッドアンテナ
- ③ 選局ツマミ
- ④ 選局指針
- ⑤ 選局目盛り
- ⑥ スピーカー
- ⑦ 電源／ファンクション
切換スイッチ
- ⑧ 音量ダイヤル
- ⑨ イヤホン端子
- ⑩ 外部音声入力端子
- ⑪ 電池ボックスカバー

乾電池の入れかた

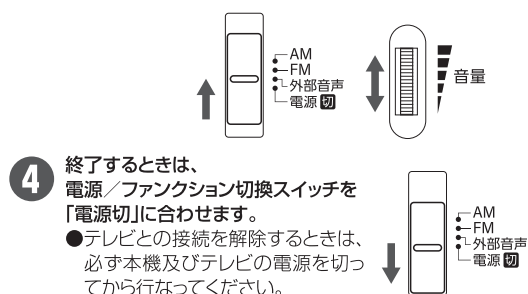
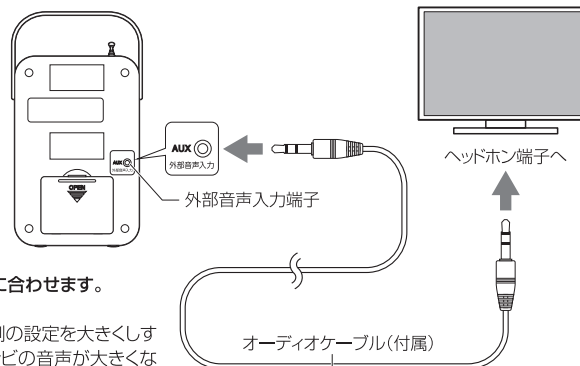


●乾電池の残量が少なくなると、音が小さくなったり、雑音が多くなったりします。そのような状態になったら、早めに新しい乾電池と交換してください。

テレビとつないで耳もとスピーカーとして使う

本機及びテレビの電源が切れている状態で接続してください。

- 1 オーディオケーブル(付属)を使って、本機の外部音声入力端子と、テレビのヘッドホン端子を接続します。
- 2 テレビの電源を入れ、ご覧になりたいチャンネルに合わせて。
●テレビ側の音量は大きすぎない程度に調節してください。
- 3 本機の電源／ファンクション切換スイッチを「外部音声」に合わせます。その後、音量ダイヤルを回して音量を調節します。
●音量調節は本機、テレビの双方で可能ですが、テレビ側の設定を大きくしすぎないでください。本機との接続を解除したとき、テレビの音声が大きくなりすぎるおそれがあります。



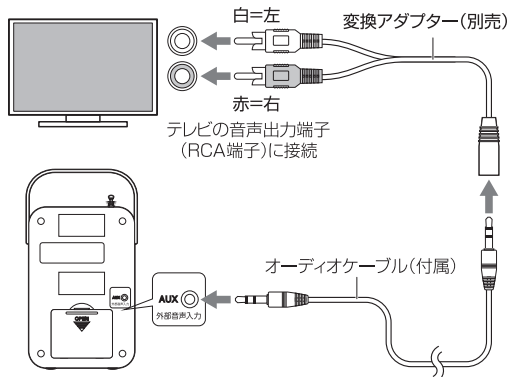
- 4 終了するときは、電源／ファンクション切換スイッチを「電源切」に合わせます。
●テレビとの接続を解除するときは、必ず本機及びテレビの電源を切ってから行ってください。

ご注意

- モノラル出力端子に接続する場合は、モノラル変換プラグ(別売：市販品)を使用してください。そのまま接続すると、音が出ないだけでなく、テレビに悪い影響を与えるおそれがあります。
- テレビの電源を切っても、本機の電源は自動的にには切れませんのでご注意ください。
- 足に引っかかったりして、けがや故障・破損の原因になりますので、使わないときはオーディオケーブルの接続を解除し、邪魔にならない場所に保管してください。

テレビからも同時に音を出すには

変換アダプター(別売)を使うことで、本機とテレビ本体両方から音声を出力することができます。下図を参照して接続してください。接続した後は、テレビ及び本機の電源を入れ、それぞれの音量を適切に調節してください。

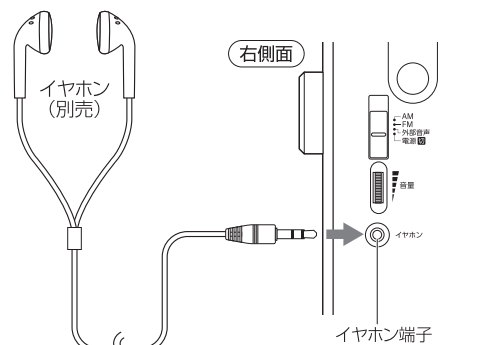


ヒント

- お使いのテレビによっては、設定メニューにより、スピーカーとヘッドホン端子の両方から音声を出力できるものもあります。テレビ付属の取扱説明書をご確認ください。

イヤホンで聴くときは

イヤホン(別売)のφ3.5mmステレオミニプラグを、イヤホン端子に差し込んでください。イヤホンを接続すると、スピーカーからの音は聞こえなくなります。



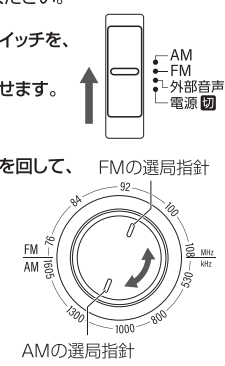
ヒントとご注意

- 音声はモノラルです。
- 本機のイヤホン端子はモノラル出力用ですが、ステレオミニプラグのみ対応します。モノラルミニプラグのイヤホンはお使いいただけません。

ラジオを聴く

突然大きな音が出るのを防ぐため、電源を入れる前に音量ダイヤルを下に回して、音量を最小にしてください。

- 1 電源／ファンクション切換スイッチを、お聴きになりたいバンド(「AM」または「FM」)に合わせます。
- 2 音量を少し上げ、選局ツマミを回して、お聴きになりたい放送局の周波数に合わせて。
●選局目盛りを参考にしながら、選局指針を放送局の周波数に合わせてください。
- 3 音量ダイヤルで音量を調節します。
●音量の上げすぎにご注意ください。
- 4 終了するときは、電源／ファンクション切換スイッチを「電源切」に合わせてください。



受信状態を良くするには

- AM放送の場合
本機内にアンテナが内蔵されています。本機の向きを変えて最も良く聞こえるように調節してください。
- FM放送の場合
FMロッドアンテナを伸ばし、本機の方向を変えて受信状態が最も良くなるように調節してください。

※テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機を離れてご使用ください。
※FMロッドアンテナは回転しません(伸縮のみ可能です)。
※持ち運ぶときは、目をついたりして危険ですので、FMロッドアンテナを縮めてください。